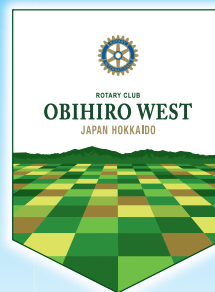




帯広西ロータリークラブ 第1956回例会 2012.7.12 会報



■RI第2500地区テーマ■

心と心、笑顔と笑顔、今奉仕のために行動を起こそう



■クラブ・テーマ■

学ぼうロータリー、訪ねようロータリークラブ

7月の結婚祝い

本田美喜男会員、松見喜明会員

7月の誕生祝い

近藤誠勝会員、千葉清孝会員、佐藤 聡会員
上野裕司会員、立崎貴之会員、北川勝啓会員

乾杯 鈴木 享会員

会長報告

先週、話しすぎて今日はSAAから短くと言われております。この後のプログラムが詰まっておりますので今日はこれで終わります。
(西ロータリー、史上最短の会長報告でしょう、多分)

会務報告

- 7月26日、出席依頼。
第3回クラブ協議会(櫻田ガバナー出席)
櫻田ガバナー公式訪問例会
- 川田会長より、お父様お別れの会参列のお礼がありました。青少年育英基金に積み立てさせていただきます。

委員会報告

- 国際奉仕委員会 越智委員長
8月11日、菅井貴子さんの講演会に続くJICAナイトを移動例会とします。この機会にJICA帯広存続の機運を高めたいと思います。

プログラム(理事会)

- ◎前年決算・監査報告(別紙資料配付)
山本範之前年会計、河合健一会計監査
- ◎今年度予算報告別紙資料配付)
久保且佳会計
- ◎理事就任挨拶
三野宮直前会長、上垣会場監督
久保会計、神田プロジェクト特別
若林社会奉仕、堂山新世代奉仕
河西プログラム、斉藤会長エレクト



今年度理事のみなさん
(岡田、古田、三野宮、佐々木和彦理事は撮影時、不在でした)

ニコニコ献金(大量26名の献金がありました) 理事就任

古田敦則副会長、大友広明幹事
久保且佳会計、上垣香世子会場監督
三野宮功直前会長、斉藤憲生会長エレクト
佐々木和彦職業奉仕、若林剛社会奉仕
堂山啓太新世代奉仕、河西智子プログラム
神田龍一プロジェクト特別

委員長就任

谷脇正人親睦活動、佐々木嘉晃健康増進、
鈴木 享広報、越智孝佳国際奉仕、
久保忠正米山記念奨学

新入会員推薦者

古田敦則副会長、佐々木和彦会員、小谷典之会員
新入会員 松見喜明会員、工藤正宏会員
決算報告とお礼 奥前年幹事

若林 剛会員 ガソリンスタンド代表就任。
川上哲平会員 2日連続エイジ・シュート達成、スコアは74.78。通算26回目。
堀 修司会員 十勝川いかだ下りに参加。自由いかだ部門で32チーム中3位。
田中耕吾会員 年度末スポーツ大会ゴルフで準優勝。

| | | |
|------|-------|-------------------|
| ニコニコ | 7月12日 | 26,000円 |
| 献金 | 累計 | 76,000円 (7月12日現在) |



会長 川田 章博 副会長 岡田 武穂 会場監督理事 上垣香世子 発行：広報委員会
幹事 大友 広明 副会長 古田 敦則 プログラム委員会理事 河西 智子 委員長 鈴木 享 (副)本田美喜男



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

2012-13年度RI会長は、30年ぶり3人目の日本人会長となる田中作次氏です。

田中氏が世界中のガバナーとなるロータリアンに向けた、国際協議会における講演の全文が今年度ガバナー月信VOL-1に掲載されています。平易でありながら格調の高い内容ですし、何より直接に日本語でRI会長方針を読み、理解することができる絶好のチャンスが今年度です。ご一読下さい。

田中作次 RI 会長 プロフィール



埼玉県、八潮(やしお)ロータリー・クラブ会員。
家庭紙卸売業、株式会社タナカの代表取締役を32年務める。
1995年、株式公開後、日用品雑貨卸売販売、株式会社ダイカと合併。
その後、商圈を全国展開するために再度合併した株式会社あらたの相談役。
全国家庭紙同業会連合会会長を8年間務める。現在、八潮市商工会副会長。
ロータリー財団管理委員として、2009年バーミングハム国際大会委員会の委員長を務める。ロータリーに関するその他の任務として、RI理事、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ガバナー、ポリオ撲滅提唱グループ、恒久基金委員会、未来の夢委員会の委員。ロータリー平和フェロシップ基金を設立。
超我の奉仕賞、ロータリー財団の特別功労賞を受賞。
家族：京子夫人、3人のお子さんと5人のお孫さん。



これまでに日本人RI会長はお二人いらっしゃいます



1968-69年度RI会長
ジョージ・潔・東ヶ崎

1895年、米国カリフォルニア州生まれ。成人してから日本で長く暮らす。
カリフォルニア大学バークレー校に学ぶ。第1次世界大戦中、フランスに渡り兵役につく。その後、仕事の場を日本に移し、語学力と米国通を生かし、米国経済使節団の通訳、日米協会への尽力など日米の文化交流や通商面で活躍する。
ジャパン・タイムズのマネージャーとして働き、その縁で水曜クラブに入会。
(水曜クラブは、戦争中のロータリー・クラブの別名) 日本のクラブは1940年代後半にロータリーに復帰し、彼は1955-56年度東京ロータリー・クラブ会長に選ばれた。
ジャパン・タイムズ顧問、富士海外旅行社社長、日本バイブル協会、日米協会などの役員を務める。1992年2月7日に東京で亡くなる。享年96歳。

会長としてのRIテーマ：「参加し敢行しよう！」

「参加こそが、クラブの一員として何かを達成し、活発で効果的なロータリー・クラブをつくるための鍵です」

語録 「慈愛は我が家から始まる、という諺があります。これは今も変わりません。遠い国について考察するのはよいことだし、必要なことです。でも、あなたの町の問題に関心を寄せるのも大切です。私たちは、まさに自分自身の地域社会で、多種多様な奉仕の機会に恵まれているのです」。



1982-83年度RI会長
向笠 廣次 氏

1912年、九州久留米市生まれ、精神科医師。
九州帝国大学医学部卒業後、同大学の精神病教育センターで研究を続ける。
後に、大分県中津市で精神科医院を開院。電気ショック療法のパイオニア。
1957年、中津ロータリー・クラブに入会。根っからの国際人で、国際レベルの役職で活躍。1992年10月に亡くなる。享年80歳。

会長としてのRIテーマ：「人類はひとつー世界中に友情の橋をかけよう」

「安らぎ(平和)を築くことは家族の課題です。私たちがみな、同じ家族だと認識すれば、平和は実現不可能なほど大きな課題ではないのです」

語録 「20世紀経過すると、100万人の先祖をもち、30世代では、10億人、40世代を経過すると、1兆人の先祖をもつこととなります。要するに私たちはすべて『いとこ』なのです」。

「人間の考えには似たところがあります。どの国の芸術であっても称賛できます。どの国のことでも、素晴らしい行為には感動します。どこかの国に悲劇が発生すれば、私たちは涙をこぼさずにいられません。こういった事実は、他の何よりも、世界のいたる所で考え方が似ていることを裏付けています」。